

# 事業報告

自平成24年4月1日

至平成25年3月31日

## 1. 総括的概要

国政として復興元年と位置づけられスタートした平成24年、官民一体となった復興努力、政策効果などにより徐々に景気回復に転じたように感じられます。三沢市においても三沢空港から大阪(伊丹)、札幌(丘珠)線の開通に伴い、新たに空の街三沢として青森県のみならず南部地域においても大きな役割と経済効果に期待を膨らませております。そんな中、私達商工会青年部の皆が若手経済人として市域振興のため何ができるのだろうという疑問と期待、そして尽きることのない地域愛を胸に共に助け合い、心を一つにして青年部活動に努めて参りました。

昨年「三沢市商工会青年部とはなんぞや」というテーマのもとディスカッションを致しました。私たちがどの様な形で社会に貢献し関わり合うことができるのか。また、様々な活動の中で仲間が相互に認め合い、自己の成長へと結び付けていけるのか。という議論をできたことが平成24年度の「友より学ぶ」というスローガンとなり、活動の意義に反映されました。

地域振興事業である「みさわ七夕まつり」は、アメリカ広場をメイン会場とし晴天にも恵まれ3日間で多くの御来場を頂く事が出来ました。初日は、「三沢を彩る昭和の夏祭り」をテーマに市民参加型のイベントを開催し昭和のまつりを感じ楽しんで頂きました。ダンスコンテスト、3on3トーナメントなどの各種イベントも大盛況のうち収めることができ、会場内における収益事業と会場設営につきましても外郭団体の多大な協力のもと円滑に運営することが出来ました。

「クリスマスフェスティバル」では、オレンジ広場とポケットパークの装飾を部員が一丸となって試み、街に新しいイルミネーションスポットを作り出しました。

「あなたの優しさ届けます」事業では、皆様からの善意を募り、市内の幼児施設の子供たちにプレゼントを贈ることが出来、こうした新たな世代との関わりは、未来への貢献につながる事と期待しております。

総務・研修委員会では、総会の運営と「友より学ぶ」をテーマに研修事業を実施しました。部員各々に発言の機会を設け部員間の相互の理解と向上心を育む大変良い機会となりました。また、竹林商工会長を講師にお招きし、戦後からの三沢市の商業発展の流れと若手が一経済人としてどのように仕事に取り組むべきかを対談し、考える事が出来たことは大変有意義なものとなりました。

地域密着委員会では、市内外の各団体と交流を深めながら様々なイベントへの協力体制の強化に努めました。こうした交流の中から、人と人との結びつきが年々強まっていると実感しています。各団体との相互理解は今後の活動において必ず大きな和となって地域貢献の力となることと確信しております。

結びに、このような商工会青年部活動は部員1人1人が支え合い邁進してくれたお蔭で成り立つことが出来ました。共に手を取り協力をしていただいた仲間への感謝は尽きることがありません。仲間の大切さと絆の深さを改めて知ることが出来た1年であります。また、商工会青年部に多大なご理解とご協力を賜りました皆様があつてこそだと心から感謝しております。今後さらに商工会青年部の友情の和が大きく強く広がり、地域の振興発展に寄与する事と信じております。

平成24年度 三沢市商工会青年部  
部長 新山 聖将